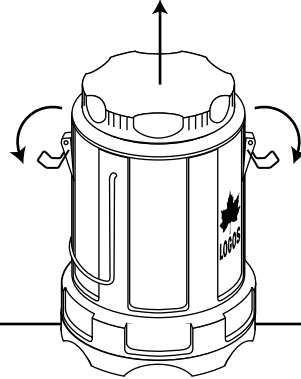




LOGOS バックル火消し壺

まず最初に

- ① 火消し壺取扱い時は、必ず革製などの耐熱性グローブ(手袋)を着用してください。壺が高温になります。



使用方法

- ② バックルを外し、蓋を取り外します。

- ③ バーベキュー等の残り炭を火消し壺のなかに入れます。一度に流し込むと大変危険ですので、必ずトングで一つずつ入れてください。

残り炭

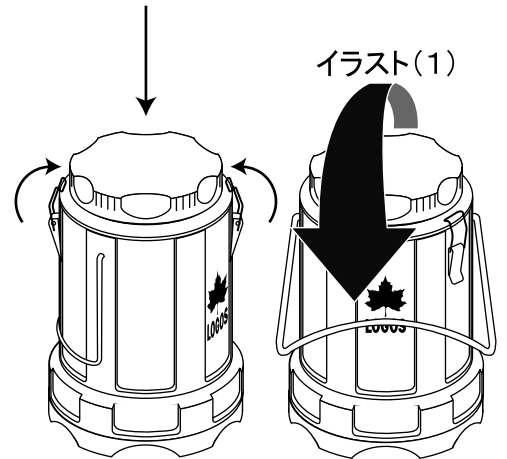
注意！必ず炭を入れる前に、加熱されても問題がない場所に設置してください。壺は炭を入れた直後から高温になります。

注意！水は入れないでください。

火消し壺に入れられる炭の量は、間口上端の約4cm下までとしてください。

注意！炭を入れると火消し壺は急激に熱くなります。火傷には十分ご注意ください。

注意！表面の処理が加熱され煙が出ますが、使用上問題はありません。



- ④ 炭を入れた後、直ちに蓋をセットし、バックルを取り付けてください。ハンドルは前方に倒し、イラスト(1)の状態にしてください。

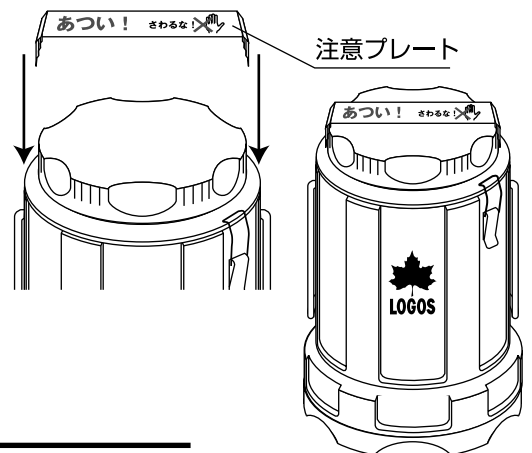
注意プレートの取り付け

- ⑤ 蓋を閉めたら、必ず直ぐに付属の「注意プレート」を取り付けてください。蓋側面のスリット(溝)に差し込むように上方から取り付けます。

本体が冷めるまで側で見守ってください。(約30分前後)

注意！火消し壺からは絶対に目を離さないでください。

注意！お子様や、ペットを周りで遊ばせないでください。



- ⑥ 完全に冷えたことを確認してから、持ち帰るようにしてください。持ち帰った残炭は、次回使用できます。灰は、地方自治体の取り決めに沿って処理してください。

▲使用上の注意

警告！炭投入後は、必ず直ぐに注意プレートを取り付けてください。また、周囲の人に対しては注意喚気してください。

注意！火消し壺の中に、水は入れないでください。

注意！火消し壺からは絶対に目を離さないでください。

注意！消火中の火消し壺は移動禁止です。冷えるまでは絶対に移動させないでください。

注意！火消し壺に炭投入後は、移動する事ができませんので、設置場所には十分ご注意ください。

注意！火消し壺の底面も高温になりますので、設置場所を焦がすことになります。焦げても問題のない地面等でご使用ください。

注意！炭を入れると火消し壺全体が急激に熱くなります。火傷には十分ご注意ください。

注意！火消し壺の中で火力を強める行為は禁止です。

注意！お子様や、ペットを周りで遊ばせないでください。

注意！本製品は、熱伝導率の高いアルミニウム製です。中の炭が消火されると、本体の熱も比較的早く低下します。本体温度が下がってきたら、消火が進んでいることを意味します。

注意！必ず火消し壺が冷えた状態で、持ち帰るようにしてください。